

新しい学年、新しい環境になって約二か月が経過しました。

あなたはこの約二か月間、どんな本を読みましたか？何冊本を読みましたか？

元郷中学校の図書室には様々な種類の本があります。

本はあなたとの出会いをじっと待っています。

ぜひ図書室に来て、本と出会う喜びを感じてみてください。

どきん

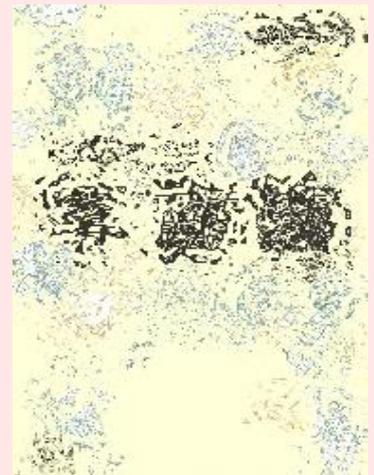
さあページをめくってLet's



～図書委員おすすめ本紹介～

① 『14歳からの宇宙論』 佐藤 勝彦/著

アインシュタインの宇宙モデル、ブラックホール、暗黒エネルギー、100兆年後の未来……138億年を一足飛びに知る宇宙入門の決定版。この本は名前の通り宇宙について書かれています。しかし、それほど難しいことは書かれていません。宇宙は奥深いものなので、少しでも宇宙について興味があるなら来てください。



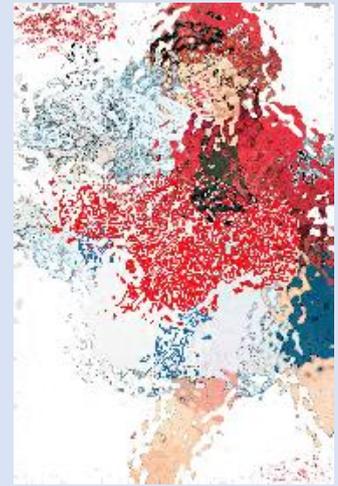
② 『桜のような僕の恋人』 宇山 圭介/著

美容師の美咲に恋した晴人は彼女に認めもらうために一度諦めたカメラマンの夢を目指す。そんな晴人に美咲も惹かれて恋人になった。けれど美咲は人よりも何倍もの速さで歳を取る難病になってしまったのだ。老婆になっていく姿を晴人にだけは見せたくないと悩む美咲。桜のような儂く美しい恋の物語。



③ 『はたらく細胞』 清水 茜/著

とある「人」の体内で年中無休で働いている数十兆個もの細胞を擬人化した物語。新米の赤血球や白血球などを中心に群集劇の形で細胞たちの日常を描いている。この本はアニメでも放送されていて人気の本です。この本の良いところは体のことについて、学べるところです。理科の勉強にも近い話も面白いです。ぜひ読んでみてください。



④ 『君は月夜に光り輝く』 佐野 徹夜/著

この本は「生きる」ということを教えてくれます。「発光病」という架空の病気に冒された少年の話。最後のお願いは途中で想像できて、実際その通りの展開になった。「発光病」で入院した小年の名前は、渡良瀬まみず。「発光病」というのは、月の光を浴びると体が淡く光ることからそう呼ばれ、死期が近づくとその光は強くなることです。まみずの「死ぬまでにやりたいことリスト」を通じて、お互いが生死というものを考え、自分自身の気持ちに気づいていく。青年の儂い恋愛小説では含まれている。大事な人を亡くした時、私たちはどのような事を思うのか。とても考えさせられる小説で、とても感情があふれている本です。



図書室の利用方法

- ① 借りたい本をカウンターに持っていく。
 - ② 貸し出しカードに記入する。
- ※ 本は一人二冊まで借りられます。
※ 貸出期間は二週間です。
- 返却期限を守って、大切に利用しましょう。

図書室が「自習室」としても利用できるようになりました。本を読む、借りるだけでなく、必要に合わせて、ぜひ図書室を利用していただき



これから6月で梅雨に入るので、季節感をイメージして、雨の中でも読書を楽しんでほしいという思いで作りました。雨は立体感を出して、風が吹くとテープが揺れて、雨の強さが日によって違うと感じ取れるようにしました。この掲示物を見るついでに図書室に寄って本を一冊手に取ってみませんか？

